

蓬中抄

下

W 58
R 27
2





8768



阿波國文庫

不悉文庫

簾中抄

第十七京中

横小路

一糸

シホキ町

土御門

タカツカサ

近衛

カシテユ小路

中ノミカト

春日

シホイノミカト

レシセイ

二糸

シシコウ子

一糸坊門

姉カウ子

三糸

坂門





錦ノ小川

四糸

五糸坊門

夕力辻

五糸

樋口

六糸坊門

ヤニモ

六糸

サノ軒

七糸坊門

キタ小路

七糸

塩小路

八糸坊門

ムメノ小流

八糸

針小流

カラハシ

エナノ小路

九糸

此ハ北ヨリハシタル又一糸ノ水ニ北小路ムサノ小流今小  
流アリ又春日ノ水堀河ヨリ西宮ノ小流アリ



夕、小路

スサカ

坊城

壬生

クシケ

大宮

井ノ口

堀河

アフラク小路

西洞院

七千

ムロ町

カラスル

東ノトシ院

高倉

万里小路

トミノ小路

京コク

此ハ、ヨリハシニル 又京極ヨリ

スサカ

十トアリ、又同小



中津門ヨリ北

ツノ云七条坊門ヨリ南

ハ、ニト云

小津ヲハ大炊ノ津門ヨリ北ヲハタチハキ町ト云

ツノ云津門ヨリ戸ミツ町口ト云中津門ヨリニモツ町

尾ト云カラスニコヲハ中津門ヨリ北ヲ。コニ口ト云此

ハ皆東ノ京ナリ西ノ京モ皆小津ノ名アリ

第十八名所

神泉苑

二条大宮八町



朱雀院

勸學院

牛李院

穀倉院

本院

近院

閑院

東三條

三條朱雀四町

後院上云

三條坊城

勸學院西

朱雀門前

時平大臣家  
中津門城川

純有家  
春日鳥丸

冬嗣大  
三條西四町

三ヶ院

小里宮

紅梅殿

梅苑

桃苑

高松殿

八ヶ松殿

千ヶ井殿

惟喬河

菅家河家

丑条坊

二条京極

二条大宮

了子乃小波西洞院

姉小路坊河橋逸勢家

六条坊西洞院

中務宮家



一乘院

京極殿

後一乘後朱雀

後山泉三代ノ孫ハ生サセ玉

フトコ

深殿

正親町系松

忠信云家

清和院

深殿南

小一乘

近赤東向

又今カトナ

小二乘

二



御子丸

堀河院

冷泉院

高阳院

亭子院

九条殿

鴨院

山井

三

二条堀

大炊御門堀河

中津門カウノ宮ノ家

七条坊門西洞院寛平法皇  
佛所

唐橋町九条殿家

押小路室町

三条坊門京極永頼三位家



河原院

花山院

鬼殿

鷹司殿

小松

内記井

釣殿

西条宮

六条坊門万里小路融太長家

近束西洞院

三条西洞院

土御門万里小路

ヲホイ三ノ町光孝天皇廿  
廿七ヲ所也

中津門東洞院

イマノ六東院ナリ

公長家

三六

東五糸

此竹

ノ京ニアリ

ニノ京ニモ少

ハアリ

五

宇多院

法皇御所

西三糸

良相大臣家

西宮

高明ノ言ノ家はニアリ



第十九八卦

三 離中斷 南

一八十六 廿四 卅二 卅十 四十二 卅八 五十六

六十四 七十二 八十 八十八 九十六

遯年南 次害子 純命戌亥 西山一行 (カラス) 生氣東

養者未申 天井西 福德辰巳 裏日子甲

小寒 正月 五月 十一月 正月 廿日 廿日

大元 十月 十一月 十二月 廿五日 廿五日



一七十月ヤリ十一月十二月イイ  
下二日十日五日カ

三 坤 啓 漸  
ヒツエサル

二九十七廿五卅三 四十二 四十九 五十七 六十五

七十三 八十二 八十九 九十七

遊 未申 火カイ ヒツエ セ子命 ハ 生氣 セ寅 養者 南

天井 辰巳 フク徳 西 心日 イハシ 卯酉

小表 六月 十二月 イム 十三日 廿九日

大厄 二月 七月 イム 三日 八日 十日 ハ 行 ハ カラ人



一 七子月ヤク二月八月イム十五日廿四日

三 先上断

三十八廿六卅四 四十三 五十 五十八 六十六

七十四 半三九十九十八

遊年 西 火カイ 北 七子命 東 生氣 戊亥 養者 子才

天井 南 福未申 裏目 子午 小裏七月イム十日十四日廿三日

一ツノ月ヤク五月二十日イム十六日廿六日東八行八

カラス



三

乾皆連

イ又イ

四十一十九

廿七

卅九

四十四

五十一

五十九

六十七七十五

八十四

九十一

九十九

遊年

戌亥

史害

辰巳

絶命

南

生氣

西

養者北

天井

西

福德

也

表日

辰戌

小表

五月

二

イム

十五

廿三日

大厄

二月

三月

四月

九月

イム

百十三

百十四

日廿九日

一也

子月

ヤク

三月

イム

二百十三

百十四

此日

南不可行



三 坎中連 北

五十二 北 廿八 卅六 四十五 五十二 六十 六十八

七十六 八十五 九十二 百

遊年 北 火カイ 西 巳子命 未 申 生氣 辰巳 養育 戌亥

天井 才 福德 東 忌日 七未

小表 正月六月七月イム十六日

表 三月十月十一月イム七月十月十日

一説月ヤク二月八日イム七日 正日



三

良上連 ウシトラ

六十三廿一廿九廿七 四十六五十三 六十一

六十九七十七 八十六 九十三

遊年 セリ 火害

南 生氣 未申

ヤク者 西 七命辰巳

天井 ハ

福德 戌亥 衰日 丑未

小衰 三月 四月 九月 十月 伊ム 二日 九日 廿九日

大厄 四月 十二月 伊ム 廿三日

一説 月ヤク 丑月 十一月 伊ム 廿三日 此日南へ行ハラス



三 震下連

七十四廿二三十廿八四十七五十四六十二

七十七十八十七九十四息金百七十九

遊年東火害 未申 七十命西生氣南養者 北

天井戌亥 福德北 表日卯酉

大厄二月五月八月十月イム八月十六月廿日

一説月イム六月七月イム八月イム十六月イム廿六日此日イム

五 西へ行へカラス



三 巽下断

十九 廿三 卅一 卅九 四十八 五十五 六十三

七十一 七十九 九十五

遊年 辰巳 火害 北 七十命 七一 生氣 北 九十廿 南

天井 未申 福德 南 表日 辰戌

小表 四月 十月 十一月 十四日 十七日

大厄 三月 六月 九月 十一月 廿五日

一説 月ヤク 十月 十二月 十一月 六月 十七日 十九日



廿五日此日トモ東へ行ヘカラス

遊年火害絶命此方ニ造作アリキ。家ワタリ。

ムコトリ。ナト萬ノ事皆忌ム但シ火害絶命

ハ月チカナニイハス又遊年ノ方ニ佛神ニツ

カニツルヘシ生氣養育者福德此カクハ萬ノ夏

ニ比自者天井ヤニイツ去ニヨシ忌ノ日萬ノ

ノ夏ニイハシ今日ノ見ルノ命木 拾遺

第廿属星部



本命星 生し九年 二北田ノル

子年人

貪狼星

命木

命穀

丑亥年人

巨門星

乙シス

粟

子戌年人

祿存星

ニシ

イヤ

卯酉年人

文曲星

衆

麦

辰申年人

廉貞星

衆

アサ

巳未年人

武曲星

季

豆

午年人

破軍星

カラモ

アツキ

此ハ北斗七星ナリ



當年星 年コトニカハナリ此九曜ナリ

羅睺星 惡キ星也此年々々ツシムヘシ

日 一十九廿八廿七 四十六 五十五 六十四

計 七十三 八十二 九十一 百

土曜 此モ惡キ星也又ヨキトモアリ

金 二十一 廿九 卅八 四十七 五十六 六十五

七十四 八十三 九十二

水曜 惡キ星也此年々々ヨリ慎ヘシ



三十二 卅一 卅九 四十八 五十七 六

七十五 八十四 九十三

金曜 惡キ星也此年ヨソツクシメ

四十三 卅二 卅一 四十 四十九 五十八 六十七

七十六 八十五 九十四

日曜 善キ星也此年八萬ヨリ有日蝕シ慎ヘシ

五十四 卅三 卅二 卅一 五十九 六十八

七十七 八十六 九十五

此北斗七星ノ事ナリ



火曜 悪キ星也此年ヨク慎ヘシ

六十五廿四廿三 四十二五十一 六十六十九

七十八八十七九十六

計都悪キ星也慎ノ年也女ハシモク慎ヘシ

七十六廿五廿四 四十三五十二 六十一七十

七十九八十八九十七

月曜 善キ星也月蝕ヲ慎ヘシ

八十七廿六廿五 四十六 五十三 六十二 七十一



八十九 九十八

木曜 善キ星也此年三ロコアリ

九十八 廿七 廿六 四十五 五十四 六十三

七十二 八十一 九十 九十九

信味此アタリタ九星トモウ供養礼拜之真言

シタモ子十トスシハアニキ事ヲヤメヨロコ

六ロコアリ

大略



十日 第サ一人神 ヒルカヒ ヤイトウ。ナホラソコニセ又

一日 足ノシヒ指 又足ノシタ

二日 トノツブシ 又右ノ脇 又股ノウチウラ 丸方

三日 内股 又腹 又内ノツブシ

四日 腰 又左ノ脇

五日 口齒 頷 舌根 又右脇

六日 手足ノ小ツヨヒ 又足ノヒラ

七日 内ノ圓節 又内ノ内



八日

ウテノ中

八股

九日

尻

又足ノウラ

十日

腰背

目

又片股

十一日

鼻柱

十二日

顔

牙

十三日

牙

十四日

ムナサキ

又手ノウラ

十五日

ヒトノ牙



十六日 背 唇 目ノ尻

十七日 膝ノウラウ一寸 又足ノヒラ 虎ノモ

十八日 股ノ内ウラ 又右ノ脇

十九日 足ノウラ

廿日 内ノツマシ 又トノツマシ

廿一日 足ノ小指 又目ノ尻 耳ノウシ口

廿二日 足ノトノツマシ 又目ノ尻 背

廿三日 背 足 足ノトノツマシ



廿四日

午ノウラ 又腰ノキ 徑

廿五日

足ノウラ 又ツラ之上三寸

廿六日

背 又膚

廿七日

膝 又内ノツラ之背

廿八日

前 又脛

廿九日

膝 脛

卅日

足ノウラ 又前

月コトニ此定也又此外ニ六十日ノ人神有リ



又年夕ニヒト云莫有凡此凡此

第廿二目次

髪ノキ月日

二月四月六月十月十二月

又申ノ午ノ日ヨシ酉ノ日モヨシ

又カシ 水 金 木 ヨシ

水ト水ト木ト木ト土ト土ト火ト火ト

此等シヨシトス 水ト木ト土ト火ト



本十比ヲ云也。是ニノトシヤ心得ヘシ

春ハ甲シ秋ハ庚辛冬ハ壬癸

此ヲ用ルヘシ

忌日

天上天一土用ノ程カシ日ニ減日月教収日

除日土公入程ク工日

此日トモ曆ニ見ヘタリ

又道虚日モ忌十二日十八日廿四日卅日此等也



物裁日

男ニ右日シ世下世上未卯

女ニ右日 畧頌之角无 尻房翼斗壁 虚

室鬼井委畢輓

此外ノ宿皆ワロシ又半郎宿八日毎下ノ午ノ時ノ即也

イヅカンイ夏シ八日シエラハス午時裁ハシ

忌日 申日

男ニ示六戊巳庚午 女ニ示三丙丁戊巳癸日

亥イ



キ又ヲ子ヲハス女サハリノ時又子ヲウミテ後日  
日ノ内 絹ヲ不裁

病ヤミテ後手洗 吉日ニハ平朝・夜

子卯午申戌 此外ハ皆忌月中ニ毛圖ノ日午

洗ハ又ヤム能ク忌ム

爪切目

手ノ爪セヨ 足ノ爪ヲ午

夢不語



二月 未戌 二月 巳申 三月 申酉 四月 未戌 五月 巳午

六月 巳卯 七月 卯辰 八月 子卯 九月 子辰 十月 辰巳

十一月 子午 十二月 午未

病人ヲ其又日 病人ヲ其又日 病人ヲ其又日 病人ヲ其又日

戌巳日辰日壬午日庚戌辛酉壬子日巳卯

此日病人ヲ見シ

正月 巳 二月 午 三月 未 四月 申 五月 酉 六月

成 七月 亥 八月 子 九月 丑 十月 子 十一月 卯



二月辰

此日モ向ヘカラス

第廿三特節

正月 ムツキ 二月 キサネ 三月 ヤヨヒ 四月 ウツキ 五月 サツキ

六月 ミナト 七月 ツツキ 八月 ハツキ 九月 ナカ 十月 カネ

十一月 トノリ 十二月 シメズ

第廿四節日

正月

一月七日

二月

三日

五月

五日

七月

七日

九月

九日

十者



林又立春々分立夏々至立秋々分立冬々至此等ラ

大八節目ト云

元正正月ツイタチシ云元三氏云

端午五月五日シ云七夕七月七日也

重陽九月九日也道虚月每朔日ノ日也六日

當也此日トホアリキセス

第廿五十二時異名

子時ツ夜半ト云

子時ツ雞鳴



子時平旦

卯時日出

辰時食時

巳時禺中

午時日中

未時日昃

申時哺時

酉時日入

戌時黃昏

亥時人定

第廿六十二月異名

大簇

正月

夾鍾

二月

姑洗

三月

仲呂

四月

蕤賓

五月

林鍾

六月

夷則

七月

南呂

八月

蕤射

九月

應鍾

十月



黄鐘十月 大呂 十一月

第廿七養生 カク瓦ニハ病ナリ命ナカシ

人ハイタクヤスラカナルハカラス常ニ物ヲスヘシ又イ  
タクハルシクハ思ヘカラスイツヒモアシ。常ニ鑑ヲ  
見ヨ但シ形ヲ愛スヘカラスアツキ折アリキシテ  
水ニムカブヘカラス。ゾホキニ汗アヘテハ身ニハクニシ  
塗ヘシ行ニ又シタラシ衣シハトク着替ヨ足汗出  
ラハ水ニナサシ入レノ足シアタカニメカシラ



シ涼ウスヘシ春秋ハハシラモ共ニ涼クスヘシ大便小  
便ハ子<sup>ケミ</sup>ウスヘカラス春秋ハ遅ク子テトク起ヘシ秋  
ハトク子テトク起ヨ冬ハトク子テシツク起ヘシトクシ  
クト云凡<sup>ニ</sup>雞ノナカサラン先ニ起ヘカラス遅ト云凡  
日出テ後迄ヌカヘラス常ニ右ヲシクメ右ノ  
脈ヲ引曲テヌヘシノゲサニニサシノヘテハヌマニ登  
寢シ望ムヘカラス夜子テカシラニ物シカツクヘカ  
ラス枕カニニ炭槌シ<sup>ニ</sup>置ヘカラス寢所ニ耳ニアタ



リテ穴アニスヘカラスツメタキ水ニテ同ナアラヒツ  
ツトメシク九俵ニ目アラハス遠ク物ツハイタク見ヘ  
カラス月日シニモルヘカラス文字チイサキフミハ靴  
ヨリ讀ヘカラス目入テ後又月ニ當テフミツヨニ  
ス煙ニ常ニアタシハ目ツラシ中ニモ熊ノ油猪ノ  
油ツトモノ其煙ニ中ヘカラスナニシクニテ五亭ヲ  
食ヒテアツキ物ツラハス頭ヨリ血ヲホノアヤサ  
イタツ泪ヲ出サス四十ヨリ後ハ常ニ目ヲヒサク



マニ櫛ヲホリシテ後シ梳ヘシワトナテ物又ニキ洗  
テ後頭ハ梳ヘシ洗モスヘシ常ニ手ヲ以テ頭シ梳  
ルメニ程ニスレハ。シラカニナラス正月ヲノ日白髪  
シ燒ヘシ大方ヲ午ノ日ヤケハヨシ物食テ後ウ  
カヒヲアミタヒスレハ齒シチス。ロカウハニ夜アリカ  
シニ齒シ相ヘシアジキ物目見入レヌ也。オノ日手  
ノ爪ヲ切りセノ日定ノ爪ヲ切ヘシ大方セオノ日  
コトニ足キノ爪ヲ切ハヨシ五月五日湯ニ蘭ト



菊トシ入テ未ノ時ニアムヘシ菊ノ常ニ場ニ入テ  
アムシハ命長シ春ハ菊ノ苗其ハ莖秋ハ花冬ハ  
根ヲ入ヨ陰日ニアムヘシ己辛癸ノ日也

枸杞ノ湯アムル日

正月二日 二月三日 三月六日 四月四日 五月一日

六月廿日 七月七日 八月八日 九月廿日 十月八日

十一月廿日 十二月廿日

此日毎ニ枸杞ヲ湯ニ入テアムルハ色アキ



ヨク成テシイソ病セス

常ニ卅日ノ首頭洗ヒ。ツイタチノ白湯ハアムヘニ物ス  
コノ頭洗ヘハ頭風ヲヤム汗アヘテ頭ニフシ又湯スル  
シ湯アムヘカラス髪洗テヒサラシサキニ尉ヘカラス  
湯殿ハヨク風入ヘカラス又イタクアタニカニスヘカラス  
湯アミテ後風ニアタルヘカラススコニ物食テ後出  
ヨ冬湯アミテ汗アヤスヘカラスアツキ湯スルニテ  
頭洗テ後ツメタキ水ヲカクヘハ頭風ヲヤム夜頭洗



テ後物食テ又へシ。シロキ水ノ一夜纏タルヲ吞へカラ  
スツトメテニタシキ又先ニウカヒシテロツツメテ  
吞ハ色尸ハヒヨシ又齒ツカムへシ虫クハスツトメテコ  
トニ齒ツ叩へシツトメテコトニ年ノウラツスリホト  
ツカシテ目ツ拭ハ目明シキノ大指ツ握テ常ニ尸  
シハ命長ク目アカシ寢起テハ人ツシテ身ツ拍ミ  
摩スへシ枕ダ高メ遠クツメキツハテハ命シニルイク  
クツハキ吐へカゾス常ニホシナクツク冬ニミツノ津ツ吞



ヘシイタタ物々 ヒエワラウヘカラス中ニ毛冬ハ能ワシ  
メアリク時物語セスツトメテ寝起テ出キコトイハス  
歌ウタハス室ツカクヘス人ノ家ハアナカチニヨクハ作カ  
ラス只清クサハヤカニスヘシ又隙透アラセス風入ト是ハ  
人少居ルヘカラスニハカニ大風大雨大霧ナトノ折ハイ  
カウタキ静ニ居テサシ出ヘカラス是ハ請龍鬼神ノア  
ソク折ニ有也家ノ内ニ佛經アラハアリカニ折先拜  
テ出ヘシ



春ハアタカナリ 氏キ又ウスナルヘカラス寝滞而ソ  
板敷ハ土ヨリ三尺六寸ツアケテスヘニ土ノケチカ  
キハ病ニケシ物食莫ハ飽マテスヘカラスサツ、ア  
夕度ヨシ又イツキ食ヘカラス膏ニ物食テハサア  
リキテ後寝ヘシ物一ツシ好テ多ク食ヘカラス其  
ハ常ニアタカナル物ヲク 一日三日ハカラス  
二月々々ク又物ハ物 海又高ノ日ノハカラス  
正月ニシルキ 夢子スノ残セル莫ツクハスザ



ウシナルヨ...

二月 葵、ウサキ 九日又寅ノ日イシニクハス

三月 元キツケ物、ヒル、芥 一日三日イシ鳥、ニラ

ヒルツクハス

四月 ヒル鳥

五月 桃、李ナトサ子ナラヌク物、ニラ、五月、鯉

ナニキ物アハセ、スハ月モサウシナルヘ

六月 鳥、芥



七月 麦 芥 芥

八月 アメ 土ハカニ シホヒル

雉

九月 シモツケルアハヒカニ 此月モサウニナル

瀬ヘシ

十月 ナニシカニ 蛤 ナニキニラ

十一月 十月ニシナシ

十二月 鼠ノソコナル物 蛤

日々ツハヌ物



月建ノ日 鳥ツクハス 寅ノ月ノ寅ノ日也 コト月ニ

毛此定ナリ

し卯日酒ニヨハス 丙午日雉ツクハス

食合セヌ物

粥トアメト アメトヒルト アメトナニキアハセト

小麦トウモノ子ト キト雉ト キト鯉ト キト寒ト

キト李ト キトサニシキ奠ト 亭キ物ト 栗ト

ナニシキ奠ト 禊ト 苺ト 梅李ト ヒルト



ナニシキ臭トクカシナト 麴ト 酒ニ酔テ人ヒルヲクハス  
ツ、トトヲト 水ヲワカシテハノニス 濁ル水ハ  
ナノミソ 井ノ水ノユヘナクモカハテンシハ飲ニシ  
キ 夜クミタラシ水ヲハノムヘカラス 立秋後ヒ水  
ツノニス 大カタ氷ヲワリテ食物ヲ入ヘカラス  
臭ノ難カシク物ナト食テハ水ヲノムヘカラス  
水ヲノミテ 胸ニ居テ 声ヲクハトクテ 菜ヲノミテ  
半ウツヘシ 酒ニ酔テ 風ニ吹タラス 又酔テ



水シ、顔ニツ、シヘカラス、菓ノナニシキハクアヘカラス  
桃李ノニツ、核アラシハナクヒリ、束、ナトモ

多ツフニシキ物

枣、柑子、李、柚、ナニシキ柿、杏、イヘノ芋

胡桃、桃、菱、梨、土ハシカミ、ナルハシカミ、木ニシ

イ先并ヒラ、蕨、蓼、菘、荷、茄子

夜ハ辛キ物シクハス、目ノクマアシ、夜ハ物ツヒス、コス

ヘカラス、又ナニシキ菓ヲタハス、又酒モノムニシ、物



食下キ腹タ、ス又モノモイタクイハス自入テ後  
火トモサヌサキニ物ナクヒツ、アツキ汁ノ一夜  
ヘタテタラシ又アタメテ食ヘカラス人ハ汗ノ  
イレラン物ハ食ヘカラス中ニモ女ヨクノくツシメ患キ  
瘡ニ成ナリ、若毒シ食テ大事ナラハ耳卓ツ  
セシテサシテ飲シカモヨシイツシモアツナカラハ  
ムヘカラス

冬モノイタク、カナルヘカラス、其モイタク涼



スヘカラス、アツクニ星ミル所ニ十子ノ子タルガア  
フルヘカラス、夜遠クアリキセス、憂アリトイタツ  
トケクヘカラス、喜アリトイタツヨコホス、誹リ答  
言モアナカ子ナルヘカラス、美ノ事ニ平等ノ心  
シナシテ若偏頗アリト思ハ、即アタタメヨ  
クニハカニアタメ、カニ、夏ニハカニ、涼カランシハ喜ヘカ  
ラス、慎ヘシ、龍蛇シハ好テ見ヘカラス、驚キ怪事  
ナカシ、怪異アラシラハ怪事ナカシ、怪シ見テ怪サ、



六怪ヲノツカタヤフル。紙シ顔ニシホフヘカラス  
亀ノ子十八トハ見ヘカラス。申寅庚申ノ日湯  
尸ミキヨハリテ夜寝ヘカラス。男女一ツムシロニ  
寝ヘカラス。月ノ晦朔ノ日ハ腋夕ス。四月八日  
木ヲキラス。五月ニ家ヲフカスムシロ置テホシ  
サテサス。五月五日血トケカテハシキ。夏シト十三ツ  
七月七日怪キ事シ思ハス。又此日アカアツキニツ  
テ日向テ飲ハヨミテセス。九月ハバカヲヌテス



十二月ツクモリニ一日程ハ香ヲ焼キヨニハリニ佛  
ヲ念スヘシ太刀カノハツ身ニムカヘス。疵瘡ナトシ  
ハ産ノ女ニハ見セス。ハ節。目ハ事ヲシセス。女アツキ  
物ヲ食テ汗アヘテチヲアラハニスレハ子ヲシヤム  
女ハ氷水ヲムヘカラス子無ク日ハ無クハス。五月ハ日

月ノサハリノ折忌物

ヒル、菓、又水シアミス。五月、桃ノヒ水シアムヘカラス  
ハラメノ忌。



鯉 奠ノカシラ。シ、兔 イノシ、 土ハシカミ

耳中 桑ノミ、カラモ、ノ核 アメ 梅

李 モチイ 又酒シノニヌ ハラメハハハニムカハス

又生年ノ方ニ向テ大小便ヲセス 三月ニナラハ南

ニモムカハス。カノシ、シ見ヘカラス 南ニ向テ湯アミ

頭アラスハス又ニソノ鏡ヲ見ズ 此皆ハラメノ変也

産後忌物 コウミン 産後忌物ニハスルモノハ

梨 酢 又眼ノカ有人シニス見ツシハ、し物出也



アツクキスヘカラス 新シキ綿ヲキセス人ノ着ル物ヲ  
キズルヨシ 常ニス、シクスヘシ 十歳ヨリ先ニハ妻ノ給  
シクハセス 十五ヨリサキニハ氷水シノニセスヲサナ  
キ着ニキヒシクハセス 母ノ涙シ子ノ目ニイル、夏有  
ヘカラス ナニニ八月シ、ヨヒシテサ、スル夏ナカレ耳ニ瘡  
出

第廿八畧誦 付款

天一ノ方ヲタカリノ夜頃



天德威德自在通王如来

此ノ誦ノ拜ノ

太白ノ方フタカリノ頌

一夜ノクリ也

一切心者 二明福者 万明福者 千萬福者

急々如律令

此拜ノ頌スヘシ

又説

迷故三界城 悟故十方空 本来無東西 何所有南北

夜行ノ夜アルノ村ノ歎

カクシハヤエウセリモニカクサケエ不足エイ我エヌケリノ



此有シ道ヲノ唱シハ百鬼夜行アリト云ハレト

庚申夜ノ誦

庚申夜ノ誦

欽候子 欽常子 命兒子 離我身

夜モスカライ子スノ此ヲトナフハ三尸去テ福来

下食日湯アル誦

妙善王 金着女 追杖鬼 冬厄鬼 波羅々鬼

湯アル時鐘ヲ叩時ノ歌

此ノ節ノ歌



霄ノ鐘ツカサル先ニア  
神ノ鳴折ノ誦

阿伽多<sup>東</sup> 刹帝魯 南須陀先<sup>西</sup> 蘇陀摩尼<sup>北</sup>

居タル所ノ四方ニ此名シ書テシケハ雷ノ怒ナシ

又諸ノ障難ナシ

凶キ夢見先時ノ歌

唐國ノツシ、ミタケニ鳴鹿モナクハ是サレニ象

又云南無切德 須弥变王如来



又云惡夢卷中本 吉夢成室<sup>室</sup>玉

東<sup>ニ</sup>向<sup>テ</sup>水<sup>シ</sup>ソノ<sup>キ</sup>テ<sup>三</sup>及<sup>此</sup>シ<sup>ト</sup>十<sup>フ</sup>レ<sup>ハ</sup>答<sup>ナ</sup>シ

或ハ<sup>采</sup>ノ<sup>木</sup>ノ<sup>本</sup>ニ<sup>テ</sup>夢<sup>ニ</sup>見<sup>ル</sup>ト<sup>又</sup>シ<sup>云</sup>テ<sup>カ</sup>リ

唱<sup>ヘ</sup>シ<sup>ト</sup>云<sup>ヘ</sup>リ 又<sup>夢</sup>ノ<sup>名</sup>ア<sup>シ</sup>シ<sup>タ</sup>ス<sup>ノ</sup>人

ニ<sup>詔</sup>ヘ<sup>カ</sup>ラ<sup>ス</sup> 又<sup>夢</sup>ノ<sup>名</sup>ア<sup>シ</sup>シ<sup>タ</sup>ス<sup>ノ</sup>人

吉夢見<sup>ル</sup>時<sup>ノ</sup>頃

福德增長 須弥切德 神王如来

又云 南無成就 須弥切德 神王如来<sup>ニ</sup>及



鼻ヒク九折ノ誦

休息美命急ニ如律令ノ存ナト云ハ是ニヤ

云ラカヘリノヒク九折ノ誦

木瓜

コトノ木瓜十クハキシアフリニ人其若ク呼テ

入野サスシハスナハキヤム

ヒク虫ノ鳴折ノウタ

ヒク虫ハ爰ニ鳴ナカウハクカシテヒクカヤニ行テ



鶴ノ鳴時ノ歌

トヨニツ鳥我木ノ中ニナキツ人皆キツユノ玉モアラズ  
人魂ヲ見タ折ノ歌

魂ハミツ主ハ誰氏シラ子氏結トメツトカヘツタ

木此歌ヲ唱テ着タキメノワニシムスフヘシ

夜道ニテ死人ニアヘル折ノウタ

冬ヤカタ夜道我行ツホ子タテテ冬エテ子タヘコカ子ナリク

夕食トフ歌



フナトサヘク食ノ神ニ物回ハ道行人ニウラニサシカシ  
三度此族シト十ヘテウチニヤシニテ木櫛ノ速シ  
ト三度トウニテスル人ヲ云事シキ、テヨシア

<sup>法イ</sup> 滄文ヤク時ノ頌

諸法從緣生 此法從緣滅 如來說是因

是大沙門說

下ニテ女子ノ頌



二一三五二二四一三二二一

又様

二二三二一三二二三二

十五夕テ頌

又様

四七八五二三六

六七二一五九八三四

イロノ文字グサリ

ハナニアリハニアリトノミイヒニテ今ノ心ツ懃ル

ハナトシハハタ物ト思ハシ一二四八十六



第廿九方遠付忌

大將軍方 三年フタカリ也

大フタカリト云

寅卯辰年ハ 北フタカリ

亥子セノ方シ忌ヘシ

巳午未年ハ 東フタカリ

寅卯辰ノ方シ忌ヘシ

申酉戌年ハ 南フタカリ

巳午未ノ方シ忌ヘシ

亥子セ年ハ 西フタカリ

申酉戌ノ方シ忌ヘシ

此フタカリノ方ニハ土ヲ掘屋ヲ作り家口多ク婚

トリ産ミ佛ノ供養ハカク繁コトナリ忌ニシ



方遠ツシハイニス又遊行ノ間ハフルギアトカクハ  
ヘス修理シハスル也遊行ノ程ハ曆ニツケタリ方  
遠ノ夏ハ節分ノ前ノ夜ヨリ我家ニ一夜モト  
ニラス又人ノ家若ハ我家ナレトカ有ニアラサル  
而シテハ四十五日ニ一夜遠ヘキ也

王相方 三月メクリト云

春三月 東ノクカル

立春 正月節 良王震相 春分 二月節 震王巽相



夏三月 南ノ夕カニ

日 立夏 四月 巽王離相夏至 五月 離王坤相

秋三月 西ノ夕カニ

立秋 七月 坤王兌相秋分 八月 兌王乾相

冬三月 北ノ夕カニ

立冬 十月 乾王坎相冬至 十一月 坎王艮相

此モ大將軍ノ方ノイニ如シ方遠ハ人ノ家

昔ハ三月十五日シ遠ヘシ我家本西三一夜



天一

昔のハクナル

此卯日ヨリ五日ハ卯ノ方ニアリ卯ト云ハ東ナリ其  
後次第ニメクル曆ニツキタリソナタニトニラズ大方イ  
ハ事ハ大將軍ノ方ノ如シ

大白

一夜メクリト云

一月十日廿日此日ハ卯ニアリ其後次第ニメクル九  
日十日ハ天地ニアリトイヘリ此モ大將軍ノ忌ノ  
如シソナタニ行テトニラサル也但正方シ忌ナリ



正上方東ニテハ東六町ニ北南ヒロサ一町ツシム  
七十町六町ヨリ遠クナラハ次第ニツノ程ハカラフ  
ヘシイニノコナ方モヤク久如シ  
土ヲ忌コト

我家ノカキノ内ハ四十五歩ヲ忌トナリハ廿五歩  
忌ム八卦沖忌方ハ三百歩ヲ忌ム三百歩ハ四町  
ノテナリナリ但シ土ヲ三尺スキテホルヲ忌ナリ

又ハ...



第三十服假

付触襪

父母一年

君シウ此等モ一年ノ服也但ツカサ有又私ソ注

ノ服ハエキズ

ヤシ十七親九月 假廿日

シトコ一年 每モシモヒ人モ皆忌(之)

子嫡子 三月 假廿日

次子 八月 假十日



ヤシナヒ子モ一月假十日 同十日

入 嫡子ナシ法由 三ナリ又ハ二月忌ヘシ

シホ子 六月 五月 假廿日

又母 一月 假十日

△△當時シヤニモセヌモ服ナシ十日

父方ノシ子 三月 假廿日

又シト、同 姉シト、同

又トコノ父母 同シ



メ三月 假十日 シモヒ人ハ服ナシ

メ伊七日 イトニ三日

又父方方ノアニシト、カ子ヤア子シト、カ子ハ服ナシ

ムコ子ヤクシハ 三月 イトニ十日

スベノハ 七日 イトニ三日

シホシホチムハ 三月 イトニ廿日

又方方ノイトニ 七日 假三日

ヒドツ母ノアニシト、一月 假十日 ア子シト、同



又一月假十日

當時母トクシタ也

大ツシホ子ハ一月假十日 大ツシホ子カシヤナリ

母方ノシホ子ハ三月假十日

シチシハ一月假十日

此外ハ服假ナシ又子ノ服アルヘキナレトセ歳マテ

ハトハス但イトハハカリハ有三月ノ服アルヘキ

三月一日ノ二六二日七日ノ二六一日 物ナレト



ル師ハ五月服アリ、或ハナシ只假三日ハアリト云

一

触穢

人ノ死タレ所、三十カクス日ヨリカツフル也

應七日此比ニ神事六廿日忌事モアリ

六子クノ死タレ五日其産三日

六子ケトハイノシ、羊牛馬雞犬ガク云

一ハ厄難ヲハア忌







入メル人ヲハ丙ノ穢トス我独ケカシテ行カヨフ  
ハ穢トシ火ニヤケタる所ハソコハカリ穢ニ行タ  
ル人ニテハ穢セス葬家ヲトフラヒ病ヲトメル人モ三  
日忌ヘシト云ヘリ此ハ食タル人七日忌キハ三日ニラ  
ハ一日或ハ五辛皆七日ト云ヘリ此等シコナ  
ヒト云ヘリ言ナリ神ノ事ニハイマスト云説モアリ  
又久ク忌モヤリハ廿三日ニ至ル也  
五辛者大ヒル小ヒルキマサツキリノシモナト也



又ニラシ入夏モヤリ  
ハラズカ三月ヨリ後ハ神ノ  
本ヘミイラスシトコハ其忌ナシト云ヘ凡五月ヨリ  
後八十ナヤル

笄卅一神夏

諸社 神主 祢宜 祝 神人 太神宮ニ祭主宮司ナリ

伊勢太神宮

石清水 八幡宮

賀茂 下御祖  
上河雷

松尾

平野 八姓氏神

稻荷



春日 藤原氏社

大和 シホヤ

大神

龍田

日台

台田 春日同

祇園 感神院也

丹生

大原野 日上

石上

廣瀬

住吉

梅宮 橘氏神

廣田

地野

木船



是廿二社也奉幣十卜常日有惣日本神

東八三千一百三十二社也

大祀 一月齋シ云 大嘗會也

中祀 三日齋シ云 新嘗月次 賀茂祭也

小祀 一日齋シ云 平野 春日祭十卜也

八十嶋 一代三度難波ノ浦三ノ戸ノ

天咫師ノスル祭十毛

屬星 天地足 玄宮北極 泰山府君



三万六千神

地震

太一

百怪

夢

火災

招魂

咒咀

宅鎮  
鬼氣

已上次序不同

七瀬杖

松力寄

川合

耳卜川

大松力寄

岩力寄

東ノ夕キ 西ノ夕キ 二 大井川

是ハ靈所也常ニ賀茂河ノ七流ニ行



有少

八所御靈

崇道天皇

光仁子

藤原夫人

伊予親王

道鏡禪師

右備

火雷天神

繼橋廣

井上皇后

橋逸勢

已上八所御靈私書入之

第廿二唐名

大改太

書其

南者

辨高昏 九大至

九右弁



近衛府 幕府 西將 休 親衛大將軍 中將

衛府 舍書 監門 武衛

檢非違使

大理 別當 廷尉 佐尉

大貳 都督 按察使 都護

受領 刺史 掌吏 牧宰 国宰 修良

百姓 黎民 庶民 元黎 黔首

京

洛陽 長安 京都 京師 花城  
花洛 京兆 枝風 右馮 朔九



此外ノ心カサトモ、三十カク名氏シホカシハシルヤス

第卅三佛夏

諸寺

座主 檢校 別當  
上座 寺主 都維那

此等ハ長吏ト云  
此等ヲ三綱ト云

東大寺

真福寺

ヤニ十  
寺ト云

元真寺

アスカ  
寺ト云

大安寺

藥師寺

西大寺

法隆寺

已上七大寺也

七僧

誦師

讀師

咒願

三礼

唄師

散花

堂  
送



八宗

真言宗

花嚴宗

天台宗

三論宗  
法相宗

已上  
大衆律宗大衆俱舍

成宗已上  
小衆

東大寺ニハ八宗シ皆習ヘシサシト三輪花嚴律

トム子トス山階寺ニハ法相ハカリ比叡山ニ天台

宗シムトス律モ有リ授戒此ナリ又真言シ

モ兼テリ三井寺モ天台宗也真言シ宗トス

仁和寺醍醐ハヒトヘニ真言宗也



東寺シカトス俱舎イワクモ先習ハ真言

祖師

金剛空瑤

龍猛

妙樹井

龍智

金剛智

已上

天生

不空三藏

善喜畏三藏

一行阿闍梨 惠和尚

以上唐

弘法大師唐へ渡テ惠和、尚習傳タリ傳教

大師ハ頌曉ニ習ヘリ頌曉モ惠和ノ流ナリ

花嚴祖師

杜頌

智儼

法藏

已上唐

日本ノ朗舟此シ渡ス



三論

文殊

龍樹

馬鳴

提婆

清弁

已上天台

罗什三藏

智淨吉藏

嘉祥大師

寂

已上唐

日本ノ道忍ワタセリ成案モ此人ワタス

法相

弥勒 慈着

世親 護法

戒賢

已上天台

玄奘三藏

基師

惠沼

智周

止忍大師  
唐

日本ノ玄昉此ツラタス俱舎同シ



天台

惠思 南岳大師

智者 天台大師

灌頌 章安大師

智威

惠威

玄朗

湛然 妙果大師

道邃 已上皆唐

日本ノ傳教大師此ヲ渡ス律宗モワタシ

律宗

智首

道宣

鑑真 已上唐

鑑真日本へ渡テ是ヲヒロム



齋月

長齋ト云

正月 五月 九月

以月ニハ帝釋南閻浮提ニ白テ衆生ノ善惡ヲカシ  
カヘシス月也五種ノ味ヲクチ戒ヲ持テ伴打  
ラ講礼スレハ一切ノ罪業ヲ消滅シテ災難ヲ  
コラス命終ノ後十方ノ淨土ニ往生スト云ヘリ  
或ハ此月ノカミ十五日持齋行道スヘシト云

十齋日

月々十日アリ



一日 八日 十四日 十五日 十八日 廿三日 廿四日 廿五日

廿九日 卅日 小月ハ廿七八九日

一日 定光仏ヲ念スレハ四十劫ノ罪ヲ除ク

八日 茉莉佛ヲ念スレハ五十劫ノ罪ヲ減ス

十四日 普賢并シテ念スレハ百三十劫ノ罪ヲ減ス

十五日 阿彌陀佛ヲ念スレハ千劫ノ罪ヲ減ス

十八日 觀世音并シテ念スレハ九千劫ノ罪ヲ減ス

廿三日 得大勢并シテ念スレハ万劫ノ罪ヲ減ス



廿四日 地蔵并シ念スレハ二万劫ノ罪シ滅ス

廿五日 毘盧舎那仏シ念スレハ三万劫ノ罪シ滅ス

廿九日 荼王并シ念スレハ四万劫ノ罪シ滅ス

卅日 釈迦如来シ念スレハ五万劫ノ罪シ滅ス

六齋日

八月 十四日 十五日 廿三日 廿九日 卅日 小月ハ廿八日



心ヲシテ歡喜セシメテ善根ヲ增益スル月齋  
目ト云ハム子トハ齋戒ヲ持ヘキニ依テ齋ト云也  
八齋戒ト云ハ

一不殺生戒 二不偷盜戒 三不婬欲戒 四不妄語戒

五不飲酒戒 六不塗飾者油裁佩花搨歌舞視聽

七不登高床廣座 八不迷牛食

ナリ

二八月彼岸

日夜トシキ時也



請仏ノ淨土ニ到シトシモハニ有ハニ八月ノ八王氣  
時齋食法ヲ修スヘシ此ヲ吉祥ノ時ト云又淨滿  
ト云此時功德ヲツクルハ諸願成就ス能ク事相叶  
テ滅失セス

縁佛

辰年人 文殊 巳年人 地藏 子年人 梅祖摩尼 未年人

摩利支天 申年人 觀音 酉年人 日原陀 戌年人

得大勢 亥年人 弘勤 子年人 微妙勢 丑年人



阿罗尼井

丁年人 秋村井

卯年人 菜叶

叔迦教法正像未時分

正法五百年說

自周第<sub>六</sub>恭王元年甲戌至于第<sub>二十八</sub>真定王十  
二年癸巳

自本物神代<sub>五百</sub>不合尊御宇八十二万五千七百  
八十二年至于人代第<sub>五</sub>孝照天皇廿八年癸巳

像法千年說



自真定三十三年甲午至後魏廢帝

美因自本朝孝昭大皇廿九年申午至行第卅  
代欽明天皇十四年美因

末法万年說

自後魏恭帝元年甲戌年美已万年终也

自本朝欽明天皇十五年甲戌年美已歲万年  
终也

正法千年說



自周姬第六恭王元年申戌至于漢明帝永  
平元年戊午 自本朝神代甲戌至于人代

第十一代垂仁天皇八十七年戊午歲

像法千年

自明帝二年己未至于大宋聖帝廿九年

庚寅 皇嘉二年也

自本朝垂仁天皇八十七年己未至于後冷

泉院永義五年庚寅



末法万年

自聖帝卅年辛卯

皇嘉二年也

万年终也

自本朝永義六年辛卯至千万年之终入末  
法已後至文治五年一百卅八年也至十  
久丑年一百四十二年也

第卅四和歛

六体歛樣六也



長歌

五七 五七 五七 七  
オホクモスリナクモ人ノ心ニシタカラ

或ハ此ヲ短歌ト云

短歌

五七 五七、三十一字也  
反歌ト云

或ハ此ヲ長歌ト云

旋頭歌

卅一字ノ外ニイニ一ウヲ添ヘタリ

混本歌

卅一字ノ中ニ一ウナキ也

折句

ウノ上コトニ文字ヲ定テヨム也

沓冠

ウコトノカミシモニ文字ヲ定也

六義

一曰風 二曰賦

三曰比

四曰興

五曰雅

六曰頌



是ハ詩ニアルコトヲマ子ヒテ云ヘリ古今ノ序ニ  
クハシク見ヘタリ

八病

同心 乱思 爛蝶 渚鴻 花橋 老楓 中鏡 後橋

同公トハ歎ノヒトツカウ子ニ同シ事ノ有セ此  
外ノ病ハ強ニサラス

四病

岸樹 風燭 浪舟 花落



以等毛強ニサラス家々ノスイノウニ見ヘク

撰集

万葉集廿卷

十ヲノ帝ノ御時ノ集

古今廿卷

延喜ノ御時友則女貞之躬恒志家等

兼テエラヘリ

後撰廿卷

天曆ノ御時能宣元輔順特文望城

等撰クアリ梨壺五人ト云此也

拾遺集十卷

花山院法皇ノ御撰也拾遺抄ト云也



ノ中ヨリエラヒイテラシタリトク

後拾遺抄廿卷 白河院御時通後ノ御筆 御兼テ

撰シタ也

金葉十卷 同作ニテ後頼エラヘリ

訶花十卷 崇徳院作ニテ 顯赫ノ三位ノセル

千載廿卷 後白河院ノ作ニテ 皇太后宮大史後

成エラヘリ

新古今廿卷 後鳥羽院ノ作ニテ 右近門督通具大卷



卿有家在近中将定家上總外家隆近

少將雅經等エラハリ

新勅撰廿卷

後堀川忠清村前中納言定家撰リ

續後撰廿卷

後荒哉院作テ前大納言為家卿

此シエラハル

續古今廿卷

同作テ前内大臣基家前大納言

為家侍從行家右大弁光俊等一テリ

續拾遺廿卷

龜山院作テ前大納言為成心撰リ



新後撰廿卷

一院ノ作テ前太納言為世卿撰ヘリ

玉葉集廿卷

伏見院作テ前太納言之兼卿撰ヘリ

續千載廿卷

一院ノ作テ為世卿撰ヘリ

續後拾遺廿卷

元帝ノ作テ權中納言為定卿撰ヘリ

撰ヘリ

身母五音樂

管絃ト云又糸竹也

六調子

一越調

呂夏  
土音

平調

律秋  
金音

双調

呂春  
木音



黃鐘調

南火音

盤涉調

律冬水音

大食調

呂

此六調子ニ舞樂百五十余アリカラノ樂シハ

凡トシ高麗ノ樂シハ右トス

笙ノ竹ノ名

子十下也 正美穴也言テ律上凡

骨毛比

笛ノ穴ノ名

子其上 中六下



高麗笛モエノマノフト笛今ニアリ

箏策ノ穴

四一上下工凡五六

琴ノ弦ノ名

宮高角 徵初 文武

箏ノ緒ノ名

一二三四五六七八九十斗トイ為中キ

琵琶ノ緒ノ名



一 シテモヤウ 行上

同柱ノ名

斗乞之也 敷 祕言 選 凡 十 上下

十一七八

催馬樂

安尊 アタラシキ

梅枝

新款 アタラシキ

橋人

美濃山

石河

葺垣

苔木

山背

真玉吹



紀伊國

木滋キナシ

美作

友生野トモウシノ

婦吾メトウ

鈴鹿川

奥山

白馬シラウマ

淡緑アヲキナ

延田ノビタ

御馬ミウマ

酒飲サケツク

竹河

河口

此殿

酒屋

倉垣

鷹山

吾家

田中井戸

喜力暮

美木ミキ

鏡山

高島

婦メカ門

大宮

長澤

已上呂次

総角

高沙古ツカサコ

夏川

貫河

死鳥井

東屋

乞井

青柳

河勢海

庭生



我門

大芥

淺水橋

大道

我門牛

瓦櫛

逢道

イ為

鷄子

隱衣

泥波海

子年經

淺也

杖簪河

已上律款

神樂

庭燎

取物

賢木

幣

杖

後

了

韓神

宮人

木綿志天

前張

階番取

薺枕

志津也乃小友

鷄子

穢等研

徐良

芦原田

殖春

上卷

大石



漆田 養

千歳

早哥

改圖

其駒 明星

得錢

由不作

書目

弓立

風俗 足柄

古柳

介様

加様ノ歎トモ、尸一夕アリ雜執云ト云

第卅六唐名

帝王

天子 皇帝 主上 天皇 陛下 至尊



聖朝  
聖上  
聖主  
聖皇  
國家  
朝廷

一人  
明時  
聖代

東宮

春園  
青宮  
照陽  
北陽  
儲君  
儲園

儲貳  
簪事  
竟機  
鶴禁  
前星  
明雨

內裏

九重  
禁中  
禁裏  
紫禁  
花禁  
凡闕



北阙

几几城

蓬莱宫

云霄

殿上人

院

仙院

仙洞

芝砌

具茨山之廿二

姑射山

后宫

长秋宫

长信宫

尧母门

后宫

后庭

掖庭

椒房之廿九

椒园

宫掖

三千人

親王

大王

行園

梁園



内親王

公主

湖阳

沁水

周自

析政者周云且始之周云且事之主上成人之時改之復辟也辟之八言  
卜云也周公且復辟八  
成王之尚書見

執政

執柄

攝録

博陸輔佐

大臣

左右同

太相国

太政大臣則嗣友也

相府

養訓

供射

漢府

魏門

三石

三槐

左府

右府



内府

納言

黄门郎

献納

亞相

上達部

月卿

棘路トク

九棘

藏人

貫首

頭

夕拜

夕郎

仙郎

焯トク  
焯トク

含鷄ケイ

侍中



殿上人

雲客

鸞鸞

第卅七年代畧頌

文武十一

大室三年

慶雲四

元明七

只和銅

元正九

靈繩二

養老七

聖武七

神龜五

天平廿

孝謙十

天平勝室八

室字二



堯帝六

尚宝字

称德二

天平神護二

神護景雲一

光仁十二

宝龜十一

天應一

桓武廿四

皆延一

平治四

只大同

嵯峨十四

准弘仁

淳和十

只天長

仁明十七

兼和十四

嘉祥三



文德八

仁壽

科衡各三

天安三

清和六

只貞觀

陽成八

准元慶

光孝三

只仁和

字多十

仁和尚一

寬三九

醍醐卅三

昌泰三

延喜廿二

延長八

朱雀六

養平七年

天慶九

村上廿一

天仁四

天保四

應和三

康保四



冷泉二

只安和

香齋十五

天祿

天延各三

貞元一  
天九一  
天九一

永祿二

花山二

只寬和

一條廿五

永延二

永祚一  
正一五

長德四

長保五

寬弘八

三條五

只長和

後一條

寬仁四

治安三  
美壽四

長元九

後朱雀九

長曆三

長久四  
寬德二



後冷泉廿三

永承七

天喜五

康平七

治平四

後三条四

皆延久

白河十四

承保三

承平四

永保三

応徳四

堀河廿一

寛治七

嘉保二

永治一

兼徳二

康和五

長治二

嘉承二

鳥羽十六

天仁二

天永三

永久五

元永二

崇徳十八

天治二

大治五

天養一

長祿三



近衛六

保安六

永治一

久壽二

後白河三

皆保元

二條七

平治永亨各三

応保長寛各二

永万一

六条三

只仁女

高倉十二

嘉応二

承安四

安元二

治承四



安化三

養和一

壽永二

後鳥羽十五

元久一

文治五

建久九

土御門十三

正保二

建仁三

元久二

建永一

承久四

順德十一

建久二

建保六

承久三

元久十

天福一

文久一

嘉禎三

元久一

延應一

仁治三

後醍醐四

皆寛九



後深中十三 宝治二 建長七 康元一 嘉元二

正元一

龜山十五 文応一 弘長三 次永十一

一條十三 建治三 弘安十

伏見十一 正応五 永仁六

院三 是正安

後二条六 乾元一 嘉元三 徳治二

新院十 延慶三 応長一 正和五



先帝十二

元應二

元亨三

正統二

嘉曆三

元化二

元弘

第廿八假名起

天化三年八月一日向小二乘亭言談之次問曰假名  
本本何時起哉又何人所作哉答曰云弘法大師  
御作之云件事所見無之但大師云自筆假名法  
苑經供養時被行八誨之云南北英云相逼為



道<sub>王</sub>師<sub>卜</sub>高名清範慶祚等之輩各振箇端那<sub>并</sub>  
之之後源信僧都又勤此事說之日本國有誠雖  
如木金言唯以假若可奉書也弘法大師傳習請  
真言梵字悉曇等密法之後寄四教法文<sub>イ</sub>  
只<sub>ニ</sub>只<sub>一</sub>ノ<sub>ト</sub>讚<sub>ノ</sub>作給以來一切法入聖教<sub>事</sub>  
經典不離此讚文字也イ只<sub>一</sub>ノ<sub>字</sub>八色八白<sub>ノ</sub>  
卜云心也不說他事只此一夏令講皆敬<sub>ヲ</sub>耳目  
之由所傳聞也又古人日本紀中在<sub>此</sub>夏<sub>ノ</sub>又<sub>同</sub>然



件弘法大師神時以佳無假若欲日本紀中假若  
又ノ日本紀アリト云々谷云此夏尤不審也雖然只付倭言  
令書也イ只ハニ才イテ為彼時始欲先智可尋之

并州九山陵

山階

天智天皇

舒明天皇廿一  
母皇極天皇

後田原

光仁天皇

天智天皇孫施基皇子廿六子

柏原

桓武天皇

光仁天皇廿二子



八嶋

崇道天皇

光仁天皇才二子

深中

仁明天皇

嵯峨天皇七子

後田邑

光孝天皇

仁明天皇三子

後山階

醍醐天皇

宇多天皇六子

以上天子七廟加母后三廟都令申陵也

第四十虬虫寸白

庚申日縁

經曰此虫有種号为三尺九虫如人俱生而為害能令



人慳貪喜怒耽愛射色采花滋味無不好色所  
以學力之人先可去苟蓋緣此類其虫精靈能通  
天地乃令人造思不樂為善每以房申日晝夜  
眠則不得去虫常以手拍心呼具名則不東西  
經三年虫自滅凡九種為病其狀具列之一者  
伏虫廣一寸長四寸二者虻虫長一尺攻心害人三  
者白虫長一寸其身長一尺則殺人口者皮虫伏  
如爛否令人煩悶五者肺虫狀如卷令人喜悅六者



胃虫状如撮蟊令人吧吐七名弱虫状如鼠辨令人  
多眠八名赤虫状如青令人腹鸣九名蟻虫状如端  
虫令人下部疼カクサ度申日夜誦三度以丸カクサ抄月三  
度一尸永去万福自束又扣欵候子欵常子命兒  
子悉入窠冥之中去離我身欵居尸欵カクサ自尸カクサ  
件文智證大帥傳之カクサ独有カクサ三井寺之御經卷



9N

Re. 21

2

8768



国立国語研究所



1001152402